

しえるメール



vol.5 (2023年8月)



灼熱の夏を
乗り越えて...

2023年7月27日 かわうち・まりん・びーち

シェルフォレスト川内より

【新連載】フォトメモリーズ

夏のイベントレポート

20のペットボトルを集めています！

(詳しくは裏面)

この情報誌は地域の皆さまに
自然や人について発信し、そ
の魅力を再発見してもらうこ
とを目的に、むつ市地域おこ
し協力隊が発行しています



村上菜月の

活動フォトメモリーズ

今号から始まった新連載！
写真が趣味の私、村上が地域おこし協力隊の活動の中で撮りためた写真を公開します！

1st Memory 夜空も地上も鮮やかに



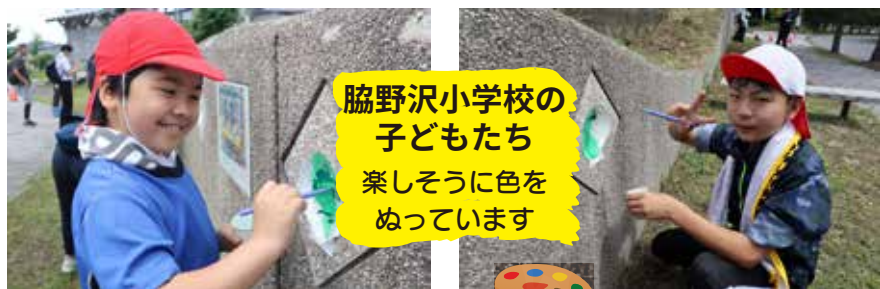
今月の厳選写真
「22年間で一番の星空」

ある日の夜、ふと空を見上げるとそこには満天の星空が…。天の川も確認でき、こんなにきれいな星空を生活する中で見る事ができるなんて幸せだなと感じました。

7月14日

脇野沢ストリートギャラリーの補修活動に参加しました！

脇野沢港の近くにあるストリートギャラリーは、今から26年前の平成9年に、当時小学校6年生の児童が卒業制作としてホタテの貝殻に絵を描いたタイルを、壁にはめ込んで屋外美術館のようにしたものだそうです。26年が経ち、色褪せたり剥げたりしているところを、地域の景観について学習中の脇野沢小学校の児童が発見し、今回塗りなおしをすることに決めました。人の営みと自然が作り出す景観。それを実際に自分たちで美しく作り直す活動は貴重で素敵な経験でした。



脇野沢小学校の子どもたち
楽しそうに色をぬっています



協力隊の
なおちゃんも
一緒に
ぬりぬり～♪



おはじき

ぬり終わった後は、おはじきを付けて装飾しました。
来年もまたぬりなおすそうです！

Writer
村上 菜月

- ・神奈川県伊勢原市 出身
- ・地域おこし協力隊 1年目
- ・生き物を見つける目を養い中です



下北の魚ピックアップ!

4 匹目 ヒラメ



下北の個人的に気になる魚を紹介していくこのコーナー。今回ピックアップする魚は「ヒラメ」です!

料理できない系男子! ? のヒラメ漁見学

まだイルカが見られていた5月の後半ごろ、脇野沢でいつもお世話になっている漁師さんの船に乗せてもらい、ヒラメ漁を見学してきました!

たまに水面に現れる背びれを遠目に見ながらヒラメ網を仕掛けたポイントへ船を走らせます。

ポイントにつくと、底に設置してある網を上げていきます。最初は機械を使って底から網を持ち上げてきますが、後半は人の手で網を手繰り寄せていきます。

このヒラメ網の中にはヒラメのほかに、マダイやクロソイ、カレイやアンコウ、そしてマダラなんかも入っていました! 改めて、脇野沢の魚種の豊富さと、海の豊かさを実感しました!

海水を入れたタンクの中にエアーを入れ、ヒラメを生かしたまま漁港に水揚げします。



めちゃくちゃかっこいい
船長の姿!



漁港では、裏側(白い腹側)がきれいかどうか、大きさはどのくらいかで選別をし、大きくてきれいなものは生かしたまま出荷します。大きくないもの、裏側がきれいでないものは、エラを切りつつ骨と骨の間に包丁を入れ、さらに尾びれの付け根にも包丁を入れて神経締めをし、重さごとに氷の入った箱に入れ、出荷していきます。



重さを量って
出荷します



ヒラメの締め方

①エラを切りつつ、骨を断ち切る ※真通させない、切り落とさない
②尾びれの付け根に包丁を入れ、骨を断ち切る ※真通させない、切り落とさない

私も神経締めを体験したのですが、ヒラメがまだ生きていて動くのに加え、包丁を入れる向きなどのテクニックが必要で、普段料理をしないことがバレてしまいました...。来年までには包丁の使い方をマスターしたいと思います!

Writer

まさのぶ
大崎 祐暢

- ・青森県青森市 出身
- ・地域おこし協力隊 2年目
- ・最近寄浪に通っています



あなたともっと話してみ隊

#03 つなぐ脇野沢、心意気

山田 濱田さんは、巨木保全や防犯協会、高速船存続や融雪溝の管理など多岐にわたってご活躍されているとか!

濱田 金にならない仕事を色々引き受けています(笑)それから自分でも何かやろうと思ってヒバの植樹祭を毎年開催していて、今年で28年目だね。

山田 地域の恒例行事ですね! 活動拠点の脇野沢は、どんな地域ですか?

濱田 元々は青森県で一番の金持ちの村で3ヶ月鱈魚に出れば1年生活できるくらい儲かった。鱈は深海魚だから漁師は木箱におにぎりを詰めて沖の方まで船を進めて行って底定置網にかかった鱈を獲



濱田小一さん

る。そうすると青森の方からも船が来るから、その船に鱈と木箱を渡して、おにぎりの代わりに札束を詰めてもらって帰ってくる。そんなこんなで戦時中にはこの小さな村から国に飛行機を2機も寄付していたほど金持ちだったんだよ。

山田 さすが「鱈の里 脇野沢」ですね!

濱田 そのあと戦後の貧しい時期には、私の叔父の濱田昭三、脇野沢の村長だったんだけど、彼がいろんなことを有言実行してきた。彼はさ、国会に行っても赤い絨毯さ走っていくような人だったのよ。村にお金を持ってくるには人の何十倍もの苦労が必要だって言って。今はほとんど廃止になってしまったけど、脇野沢の木工センター、バンガロー、スキー場、稚魚の養殖、それと高速船、みんな彼の時代、任期11年の間にできた。

山田 お話を聞いていて濱田さんは元村長の精神というか、核となる部分を引き継がれている気がするのですが...

濱田 んだな、小さい時からついて歩いてたからな。青森のネオンが光るキャブレにも連れて行ってもらったりもして

下北の魅力は山、海、そして人

今回は、脇野沢で活躍されている浜町町内会長の濱田小一さん(こういち)にインタビューさせていただきました!(以下、敬称略)



毎日バッグに入れているというカラオケパーティリー表

それで、わ、今でも歌が好きなんだよ(笑)やるからには一生懸命、私がいなくなれば無くなる地域の行事も多いかもしれないけど、人が喜んでの見るのが好きだから「生きてるうちは」と思ってやっています。



「なんぼ食べても飽きねえ」という脇野沢イノシシのお肉、見せていただきました!



Writer

なご
山田 菜生子

- ・愛知県長久手市 出身
- ・地域おこし協力隊 2年目
- ・最近イメチェンしました!



イベントレポート

シェルフォレスト川内や地域おこし協力隊の季節ごとの活動を紹介します！



6月
18日



ガサガサ探検隊 in 湯野川

川内町湯野川（濃々園付近）で、ガサガサ（水辺の生き物探し）のイベントを開催しました。当日は5組14名の親子の皆さんに参加していただきました！
本来は胴長を着用して水に入っていくのですが、今回は気温が高かったので、ライフジャケットを着用の上、マリンスーツをはいて水着のまま入りました！
この川には多種多様な生き物が生息していて、水生昆虫やカワナ、オタマジャクシ、大きなイワナなどを採集することができました。



6月
25日



第2回 むつ川内
ホタテフェスティバル

昨年に引き続きホタテフェスティバルを開催しました！
今回は1500人ものお客様にお越しいただき、昨年を大きく上回る来場者数となりました！
イベント当日は快晴で、ホタテ釣り・ほやき体験は午前中に完売となってしまいました。
さまざまな飲食ブースのほかに、ゲームや工作の体験ブースも大盛況でした！
地域の皆さんに楽しんでいただけるよう、内容をフラッシュアップして、ぜひ来年度以降も開催できればと思います。

今後のイベント情報

秋のイベント情報！ ※詳細は随時下記のSNS等でお知らせします

9月30日（土）海のガサガサ探検隊



10月7日（土）かわうち・まりん・びーち
ライトアップフェス2023

10月21日（土）KAWAUCHI 星空教室
～2023 秋～



ライトアップフェス2022

1.5、2ℓの空のペットボトルを集めています！

10月7日（土）開催のかわうち・まりん・びーちライトアップフェス2023で使用するキャンドル用のペットボトルを集めています！
1.5、2ℓのペットボトル1本につき、シーグラス1個を差し上げておりますので、ぜひむつ市海と森ふれあい体験館までお持ちください！

むつ市地域おこし協力隊募集中！

NPO法人シェルフォレスト川内では、川内・脇野沢地域の地域振興を推進してくれる地域おこし協力隊を引き続き募集しています。地域おこし協力隊は、都市部から地方部に移住して、地域を盛り上げるために活動します。むつ市外の都市部で暮らしているお子様など、興味のある方がいましたら、ぜひお声がけください。雇用条件などの詳しい情報は、下記のむつ市海と森ふれあい体験館ホームページをご覧ください。

むつ市海と森ふれあい体験館

開館時間 9:00～17:00

休館日 月曜日・年末年始

入館料 無料

〒039-5201
青森県むつ市川内町川内477
TEL 0175-42-2411



夕暮れの展望台から見た景色

活動やイベントの情報はこちらでチェック！

ホームページ



LINE



Facebook



Instagram

